



以前、メール等でやり取りをさせて頂いた方にBCCで配信しております。不要な方はお手数ですが下記(内田)までご連絡ください。

リアムコンパクトに関する最新情報や更新情報を、(不定期ではありますが)
ニュースレターとしてお届けします(注:リアムコンパクトのトップページにも掲載しております)。

1) 京都府「太鼓山風力発電所」で起きたナセル落下事故に関する論文が 日本風力エネルギー学会(JWEA)の学会誌に掲載決定

論文名: **太鼓山風力発電所のナセル落下事故に対する数値流体力学的アプローチによる一考察**
掲載予定誌: **日本風力エネルギー学会誌 通巻113号 (2015年5月発刊予定)**

太鼓風力発電所に関するこれまでの取り組み一覧

- 1.「An Examination of the Taikoyama Wind Farm Nacelle Separation Accident Using a CFD Approach」
内田孝紀, 九州大学応用力学研究所所報, No.148, 2015, 印刷中
- 2.「京都府太鼓山風力発電所で起きたナセル落下事故に対する数値風況面からの一考察」
内田孝紀, 九州大学応用力学研究所所報, 第147号, pp.45-50, 2014
http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/img/aboutus_detail_image/RIAM-Report-2014-July-4.pdf
- 3.「太鼓山風力発電所で起きた重大事故から学ぶべき教訓とは？
—数値風況診断の重要性:地形乱流の数値的予測と対策—」
内田孝紀, 日本風力エネルギー学会誌, Vol.38, No.3, 通巻111, pp.291, 2014
http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/img/aboutus_detail_image/JWEA_Kyokun_2014.pdf
- 4.「LESに基づいたRIAM-COMPACT®CFDモデルの紹介
—風車の安全運転に資する数値風況診断技術の確立へ向けて—」
内田孝紀, 日本風力エネルギー学会誌, Vol.36, 通巻105, pp.6-9, 2013
http://www.riam-compact.com/inc/download4/2013-RC_WEB.pdf
- 5.「風車はなぜ落ちたのか?」, NHKエコチャンネル, 2013
http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_ohayou_20130617_2515
- 6.「大型風車で相次ぐ事故 風車周辺の“風の乱れ”が原因か」, RKB毎日放送, 2013
<https://www.youtube.com/watch?v=YEv4kfUZyO8&feature=youtu.be>
- 7.「壊さず風車を回せ」, 日経産業新聞, 2013
http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/img/aboutus_detail_image/NIKKEI_20130527.pdf
- 8.「風力発電 落下事故続く」, 朝日新聞, 2013
http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/img/aboutus_detail_image/Asahi_20130523.pdf

- 9.「九州大学, 太鼓山事故を乱気流が原因と結論」, エコタイムズ社, 2013
http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/img/aboutus_detail_image/ecotimes_20130507.pdf
- 10.「太鼓山風力発電所(京都府伊根町)の「再生」に向けた数値的検討を実施」,
 九州大学広報室からのプレスリリース, 2013
http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2013/2013_07_22.pdf
- 11.「太鼓山風力発電所(京都府伊根町)で発生した風車落下事故に対する
 数値風況診断を実施」, 九州大学広報室からのプレスリリース, 2013
http://www.kyushu-u.ac.jp/pressrelease/2013/2013_05_07.pdf

2) 「風況の品質管理の重要性と経済効果」に関するレポートを公開

概要

愛知県渥美風力発電所では, 地形起因の乱流によって風車の故障が多発していた。著者は九電工(株)(現在は, 九電工新エネルギー(株))から依頼を受けて, RIAM-COMPACT®(リアムコンパクト)による数値風況診断(地形乱流解析)を実施した。これ以後, 渥美風力発電所では, 数値風況診断の結果と, 現地での運用経験を加味して, 風車の「自動停止プログラム」を新たに採用することとなった。この「自動停止プログラム」の採用により, 風車の故障発生を大幅な低減に成功した。本資料は最新の運用データに基づいて, その効果を定量的に評価したものである。

<http://www.riam-compact.com/inc/download5/Report-20150122.pdf>

3) NEDO「環境アセスメント迅速化研究開発事業」に採択

平成26年度～平成28年度「風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業(順応的管理手法の開発)」に採択されました。

<http://www.nedo.go.jp/content/100581537.pdf>

4) 株式会社リアムコンパクトのホームページを修正

「開発者紹介:詳細版」, 「サポート」などを新たに追加しました。下記を参照してください。

<http://www.riam-compact.com/>

問い合わせ先

内田 孝紀 (Takanori UCHIDA)
 九州大学応用力学研究所 准教授 (株式会社リアムコンパクト 取締役兼務)
 Tel : 092-583-7776
 Mail : takanori@riam.kyushu-u.ac.jp
 URL : <http://www.riam.kyushu-u.ac.jp/windeng/>
 URL : <http://www.riam-compact.com/>